

◆巻頭言

[作業療法士の研究とは](#) 小枝 周平 151

◆第 57 回日本作業療法学会学会長講演

[ものごとの仕組みに注目する](#)

—作業療法における問題解決の糸口として— 長尾 徹 153

◆第 57 回日本作業療法学会基調講演

[認知バイアス](#)

—判断し行動するときの心のクセ— 川合 伸幸 159

[痛みの仕組み](#)

—作業療法における「痛み」解決の糸口を探る— 松原 貴子 164

[新時代の認知症医療における作業療法士の役割と期待](#) 池田 学・他 171

◆原著論文

[訪問リハビリテーションにおける挑戦-能力バランス調整プロセスを用いた作業療法が](#)

[高齢者の生きがい感へ与える効果](#) 吉田 一平・他 176

[幼児期前期の母子間の相互的なふれあい遊びがアタッチメントに及ぼす影響の探索的研究](#)

. 畠山 久司・他 185

[上肢の把握動作に影響する反対側上肢の感覚情報](#)

—対象物のサイズと距離の情報— 大角 駿介・他 194

[回復期リハビリテーション病棟における手段的日常生活活動 \(IADL\) 練習の実態調査](#)

. 金野 達也・他 203

[生活行為向上マネジメントを用いた訪問支援を利用した統合失調症圏・気分障害圏の人々の](#)

[生活行為と時間使用の変化](#) 真下 いずみ・他 213

◆実践報告

[作業中心の Evidence-based practice を支援する臨床教育](#)

—探索的事例検討— 廣瀬 卓哉・他 222

[文字の読みにくさを訴えたパーキンソン病患者に対する作業療法介入](#) 細川 大瑛・他 230

[注意欠如・多動症の診断がある女兒と母親に対して目標指向型アプローチの](#)

[ホームプログラムを実践した一例](#) 倉 昂輝・他 239

[感覚刺激デバイスを用いた介入により麻痺側上肢使用頻度・ADL が改善した](#)

[急性期脳卒中後の半側空間無視を呈した一症例](#) 山本 勝仁・他 247

[視覚認知障害が移動能力に及ぼす影響とその支援についての新知見](#)

—2 症例からの検討— 中島 裕也・他 254

[脳卒中後重度上肢麻痺に対する Graded Repetitive Arm Supplementary Program](#)

[\(GRASP\) と電気刺激併用の効果](#)

—シングルケースデザインによる検討— 畠腹 奈生・他・264

[回避性パーソナリティ障害を持つ入院患者に対する作業機能障害に焦点を当てた実践の効果](#)

—単一事例実験研究— 中村 麻幸・他 272

脳卒中後片麻痺を呈した小児例に多角的なアプローチに加え，家族参加型の

Transfer package の実施が奏功した事例

—意思決定とモチベーション管理に焦点を当てた実践— 齋藤 結花・他 280

回復期の弛緩性片麻痺患者に Mental Practice と課題指向型訓練を併用した一例

. 大矢 涼・他 288

VR によるゲームアプリを用いた左半側視空間無視患者への作業療法介入

. 進藤 潤也・他 295

編集後記

▶本号では原著論文 5 本，実践報告 10 本を掲載しています。作業バランスと生きがいに関する計量的調査や，遊びとアタッチメントに関する探索的調査，上肢の運動制御に関する実験研究，IADL 訓練の実態調査，生活行為と時間利用に関する調査など，テーマや対象・方法が多岐にわたる研究が報告されており，作業療法の関心領域の広さがよく現れていると思います。さて，依然として，新型コロナウイルス感染症は人々の生活と作業に影響を及ぼし続けています。また，能登半島の震災による避難生活が長期化して，被災者の心身の健康に悪影響を及ぼすことが懸念されています。作業療法学が発信する日々の作業と健康に関する知見やその実践が，これらの課題の解決に貢献することを期待しています。 (T・I)

▶今回は実践報告が 10 編，掲載されています。さまざまな事例を丁寧に分析しており，作業療法士ならではの視点からの仮説がとても興味深いと思いました。日々の臨床で予想以上の成果を得たときに，振り返って報告をしようと試みることがあると思います。しかし，大事な情報が不足していたり，客観的データが欠損しているなど，後で気付いて後悔することもあるかもしれません。本号の実践報告では，さまざまな分析方法を駆使して経過を示していますので，これらの方法を学んでおくと，いざ報告をしようとしたときに役に立つと思います。 (C・I)